



いきいき まさきっこ12月



令和6年12月4日 松前町立松前幼稚園

今年もいっぱい採れたよ～園庭の木との触れ合いを通して～

朝晩の冷え込みが増し、季節が秋から冬に移り変わっていることを感じます。

さて、今年も園庭の柿の木に、実がたくさんなりました。旧古城幼稚園の園庭で何年も何年も育ってきた柿の木。しばらく裏年が続いたのですが、二年前より再びたくさんの実を付けるようになりました。昨年も一昨年も子どもたちで柿採りをし、ブルーシートを広げて木を揺すってみたり、虫網でつついてみたりして楽しみました。

11月下旬、今年度も子どもたちでの柿採りが始まりました。年中・年少組は教師があらかじめ切っておいた枝から柿の実をもぎ取り、年長組は「高くて手が届かないよ」「それじゃあ、登ってみようか」「台があったらいいんじゃない」「私が採ってあげるよ」などと考え、登ることに挑戦したり必要な道具を探して採ったりしました。採れた柿の実は年長組が数え、年中・年少組にも伝えます。また、皮を剥いた実を吊るして干し柿作りもしました。「おばあちゃん家で見ただことあるよ」「ぼくもやってみたい」と昔ながらの生活の知恵に触れる機会にもなりました。自分でやってみて分かることや友達と一緒にそのおもしろさを味わうことは一人一人の大切な経験として心に残っていくのではないのでしょうか。子どもたちの姿を通して、自分たちが生活している場で四季折々の自然を感じられることの素晴らしさを改めて感じたひと時となりました。筒井園舎での生活も残すところ4か月です。様々な感覚を働かせながら伸び伸びと遊んだり活動したりする生活を大切にしたいです。



もうちょっとで届きそうだよ。



一緒に数えてみよう。



園長先生、どうやって作るの？

今月のねらいと保育の内容 ～ 子どもたちと、こんなふうに過ごしたいな ～

年少うさぎ組

- 様々な遊びに興味をもち、好きな友達と一緒に楽しむ。
 - ・ 役になりきることを楽しみながら先生や友達と言葉や動きのやりとりをする。
 - ・ 好きな楽器を鳴らしたり、全身でリズムをとったりする。
 - ・ 遊びに必要な用具や材料を探したり集めたりする。



年中くま組

- 想像したことを友達と一緒に言葉や動きで表現する楽しさを味わう。
 - ・ みんなと一緒に活動することを楽しみ、自分の役割を感じる。
 - ・ 身近な素材や自然物を使って遊びや活動に必要なものを作る。
 - ・ 数・量・形・色などに関心をもち、自分なりに考えたり試したりする。

年長きりん組

- 共通の目的に向かって友達と相談したり協力したりしながら取り組む。
 - ・ 友達と教え合ったり励まし合ったりして遊びや活動を進める。
 - ・ 仲間の中で自分らしく表現する。
 - ・ 秋から冬への自然の移り変わりに興味をもち、美しさや不思議さを感じる。
 - ・ 年末の行事への関心や新しい年への期待をもって生活する。

